

外部アドバイス結果

1 外部アドバイスの目的	府が運用する環境マネジメントシステムがISO14001の要求事項に準じて適切に実施・維持されているかについて、第三者の視点により調査するとともに、システム運用等の改善に関する助言を得ること。	
2 適用範囲	大阪府庁環境マニュアルの適用範囲を対象とする。	
3 実施日時	平成24年3月16日 13:30～15:00	
4 外部アドバイザー職・氏名	NPO法人 大阪環境カウンセラー協会 副理事長 宇田 吉明氏	
5 外部アドバイス実施内容	(1)システムの実施・維持についての改善アドバイス (2)パフォーマンスについての改善アドバイス	
	アドバイス	府の対応
5-1 システムの実施・維持について	<p>【ふちようエコ課計簿について】 《全体的な評価》 この帳票だけで運用できる仕組みになっており、工夫されたものとなっている。 《様式について～①地球温暖化の防止シート》 四半期ごとの実績が、当初設定した目標に対しどの程度になっているか、現状では確認できないので一目でわかるような仕組みに改善してはどうか。 《様式について～②エネルギーとごみ、リサイクルの記録》 月毎に記録を記載しているが、累計での比較もできるようにしてはどうか。</p> <p>【内部環境監査について】 《全体的な評価》 有効な監査となっている。対面監査ではチェックすべき着眼点が具体的に定められレベルの高い仕組みになっている。また、写真で具体的に報告されており他部署にも参考となる仕組みになっている。 《環境法令の遵守状況の確認》 確認事項に漏れがないような仕組みがあるか。 例えば担当者が変わっても抜けがないよう、環境法令のチェックリストのようなものを活用し、監査で確認していくなどされてはどうか。</p>	<p>四半期ごとの累計値と目標に対する達成度を表す%表示を自動表示するよう様式を改善します。 また、目標に対しどの程度になっているか、一目でわかる仕組みについて検討します。</p> <p>エネルギーやごみの実績は前年同月と比較することが有効なため、現行の様式では当該年度と前年度の記録を併記し、記入時点での累計値が累計欄に自動計算されるようにしています。 前年度の累計との比較については、様式を複雑にしない方向で可能な方法を検討します。</p> <p>環境法令についてのチェックリストの作成及び監査での活用を検討します。</p>
5-2 パフォーマンスについて	<p>【ふちようエコ課計簿について】 《全体的な評価》 きめ細かく所属の目標が設定され進捗管理が実施されており、PDCAが有効に機能している。 《様式について～エコチャレンジシート》 エコオフィス活動しか設定していない部署がある。本来業務として実施しているはずなので、環境保全などのテーマを記入すべきではないか。</p> <p>【節電対応について】 《全体的な評価》 節電要請に応じて府庁も電気使用量を大幅に削減していることは大いに評価できる。 《更なる節電提案》 ①最大需要電力が把握できる施設では、最大需要電力を下げる目標も設定してはどうか。契約電力が下がるとコストダウンにも貢献できる。 ②夏の節電対策として、自動販売機については電力ピーク時に一定時間冷却を停止する機能を活用してはどうか。 さらに府下の自治体に府が働きかければ府域の節電に相当貢献すると思われる。 ③夏の節電では、扇風機の活用で夏場の空調を28℃に保っている事業所があった。府庁でも外勤から戻ったときに一気に涼しくなるよう入口に扇風機を置くなど活用してはどうか。 ④照明のスイッチ回路が不十分なところは、個々にプルスイッチを取り付けることでまめに消灯することができる。できるところで利用してみてもどうか。</p>	<p>府庁の全所属を対象とした本来業務に係る環境活動については、環境農林水産部で毎年作成している「豊かな環境の保全及び創造に関して講じようとする施策」及び「講じた施策」で把握し、PDCA管理を実施している。 これをEMS事務局が活用することにより全庁的な本来業務の実施状況を把握することが可能なため、本シートの廃止を含め、方法を検討します。</p> <p>扇風機の活用など既に所属により実施している内容もありますが、来年度の節電対策で活用できないか、検討します。</p>